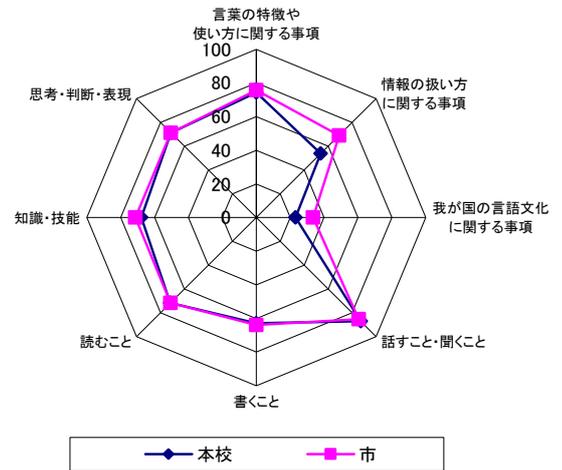


宇都宮市立城山東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.4	75.8	77.5
	情報の扱い方に関する事項	53.8	69.1	67.0
	我が国の言語文化に関する事項	23.1	33.5	37.2
	話すこと・聞くこと	87.2	85.5	86.5
	書くこと	62.8	63.9	65.8
	読むこと	71.8	71.6	69.5
観点別	知識・技能	67.8	71.3	72.9
	思考・判断・表現	71.3	71.3	71.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

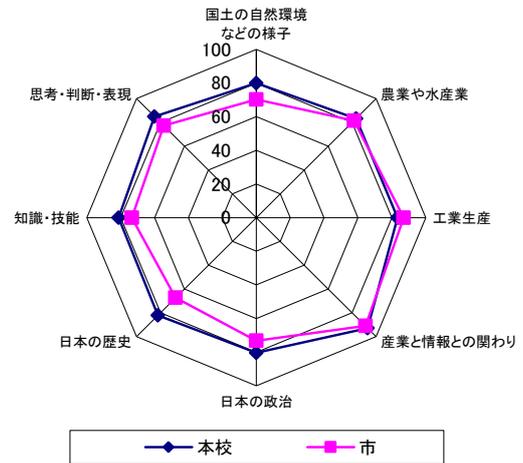
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均と同等であった。</p> <p>○漢字の読み書き、文と文の接続の関係理解に関しては、市の平均と同等であった。</p> <p>●敬語の理解に関しては市の平均を下回っており、課題が見られる。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で漢字や言葉について、丁寧に指導していく。 ・朝の学習で「宮っ子ステップアップ漢字」に繰り返し取り組んだり、AIドリルや自主学習で既習内容の復習を呼びかけたりすることで定着を図っていく。 ・敬語の理解に課題が見られたので、授業中だけでなく生活の中で敬語について指導していく。
情報の扱い方に関する事項	<p>平均正答率は市の平均を下回った。</p> <p>●原因と結果など情報と情報の関係についての理解に関しては、市の平均を下回っており課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末の活用を計画的に取り入れ、情報の分類の仕方を引き続き丁寧に指導していく。 ・授業の中で、情報の扱い方について取り上げることで情報と情報の関係について理解させていく。
我が国の言語文化に関する事項	<p>平均正答率は市の平均を下回った。</p> <p>●和語・漢語・外来語についての理解に関しては、市の平均を下回っており、課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和語・漢語・外来語の理解を深めるために、授業の中でそれぞれの由来や使い方について具体例を示しながら指導していく。 ・授業や読書活動等で昔話や民話、古文、詩歌などに触れる機会を増やし、伝統的な言語文化に対する理解を深めていく。
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は市の平均と同等であった。</p> <p>○話の内容を捉えて聞く設問は、正答率100%であり、理解していると言える。</p> <p>○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える設問では、市の平均を上回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて、その学年で身に付けるべき「話すこと・聞くこと」の指導事項を明確にした授業を展開し、言語活動を充実させていく。
書くこと	<p>平均正答率は市の平均と同等であった。</p> <p>○文章を書く設問では、どの設問も市の平均と同等かやや上回っていた。</p> <p>●自分の意見とその理由を明確に書くことをねらった記述式の設問では、市の平均をやや下回った。自分の意見に対して、理由付けをして表現することに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもつことのできる発問や学習活動、ワークシートを工夫し、自分の考えを理由付けてまとめるられるように指導していく。 ・授業の「まとめ」や「振り返り」で、一授業ごとの自分の学びを文章で書けるよう習慣付けていく。
読むこと	<p>平均正答率は市の平均と同等であった。</p> <p>○読解力では、ほとんどが市の平均と同等であった。</p> <p>●物語文の登場人物の心情を描写をもとに捉える設問では、正答率が市の平均を下回っており、課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の全体の構成と段落ごとの要旨から、文章全体の構成を捉えることができるように丁寧に指導していく。 ・読み聞かせボランティアや教職員による読み聞かせを計画的に実施し、様々な物語に触れる機会を増やし読書活動を充実させていく。

宇都宮市立城山東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

領域別	観点別	本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	80.0	70.3	66.4
	農業や水産業	83.3	81.6	75.3
	工業生産	83.3	87.0	77.7
	産業と情報との関わり	92.9	91.0	81.3
	日本の政治	80.4	73.2	75.3
	日本の歴史	82.1	67.4	68.5
観点別	知識・技能	81.3	73.5	72.5
	思考・判断・表現	84.9	77.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

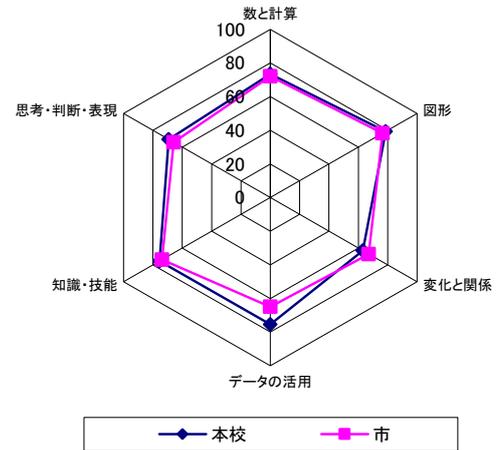
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<p>平均正答率は市の平均をやや上回った。</p> <p>○日本の周辺の海洋名や赤道など、地図上の名称についての知識が身に付いている。</p> <p>●季節風の仕組みに関して、理解が不十分である。</p>	<p>・世界地図や日本地図等の資料を活用しながら、国土の位置や気候等とも関連付けて指導し、理解を深められるようにしていく。</p> <p>・調べたことを友達に説明する場を設けることで、理解を深め、知識の定着を図るようにする。</p>
農業や水産業	<p>平均正答率は市の平均を上回った。</p> <p>○魚の出荷作業における工夫について、資料をもとに適切な判断・表現ができている。</p> <p>●米の品種改良について、資料をもとに考え、表現することに課題が見られる。</p>	<p>・日本の経済を支える産業について、産地の場所や収穫量を資料を確認しながら視覚的に捉える等して、理解を深めることができるようにする。</p> <p>・資料の写真やグラフなどを比べ、資料から読み取れたことを話し合ったり表現したりする活動を行い、より理解を深めることができるようにする。</p>
工業生産	<p>平均正答率は市の平均と同等であった。</p> <p>○安全性の高い自動車づくりについて、資料を活用して考えることができている。</p> <p>●日本の主な輸入品目の変化について、グラフをもとに表現することに課題が見られる。</p>	<p>・工場の立地や交通網の広がりや諸外国との関わり等に着目し、輸出・輸入の割合とも関連付けながら、日本の工業生産の特色や現状について捉えられるようにしていく。</p>
産業と情報との関わり	<p>平均正答率は市の平均と同等であった。</p> <p>○情報の発信と受信の注意点について正しく理解しており、それをもとに考えることができた。</p> <p>●コンビニエンスストアにおける情報の活用について、資料をもとに考えることに課題が見られる。</p>	<p>・身の回りのメディアの活用方法を丁寧に指導し理解させるとともに、活用するうえでの注意点にも目を向け、自分の生活と結び付けて考えられるようにしていく。</p>
日本の政治	<p>平均正答率は市の平均をやや上回った。</p> <p>○基本的人権の尊重や租税の役割について、理解している。</p> <p>●法律ができるまでの流れについて、資料の読み取りに課題が見られる。</p>	<p>・国会・内閣・裁判所への国民の役割について復習したり、実際のニュースなどを取り上げて政治への関心を高めたりして、日本の政治の仕組みや在り方について考えられるようにしていく。</p>
日本の歴史	<p>平均正答率は市の平均を上回った。</p> <p>○豊臣秀吉や江戸幕府の政策に関して、理解している。</p> <p>●弥生時代のくにもの変容や室町時代の文化についての理解に課題が見られる。</p>	<p>・年表や資料をもとに、気付いたことを整理したり話し合ったりする活動を通して、時代ごとの特色を十分に捉えることができるようにする。</p>

宇都宮市立城山東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	73.4	72.1	74.6
	図形	78.6	76.5	76.1
	変化と関係	63.1	67.1	59.7
	データの活用	75.4	65.0	64.5
観点別	知識・技能	75.5	73.8	74.7
	思考・判断・表現	69.2	65.8	61.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

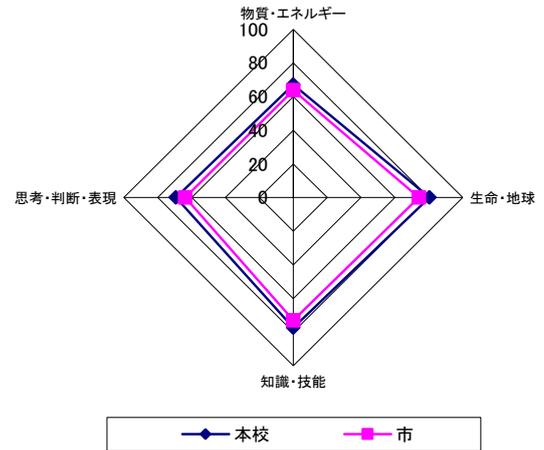
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市の平均を上回った。</p> <p>○小数の乗法の文章問題を表した図の構造を捉えている。</p> <p>●分数の計算の仕方や比較量・基準量の立式において課題が見られる。</p>	<p>・分数の計算では、計算方法や立式の理由が説明できるよう、計画的に授業の活動を設定する。</p> <p>・朝の学習や家庭学習において、今後も基本的な計算に取り組む機会を設定して、定着を図る。</p>
図形	<p>平均正答率は、市の平均を上回った。</p> <p>○図形の展開図について理解している。</p> <p>●平行四辺形の面積を求める式についての理解に課題が見られる。</p> <p>●複雑な立体の体積を求めることに課題が見られる。</p>	<p>・面積や体積の求め方について復習する場を設け反復練習に取り組み、定着を図る。</p> <p>・面積や体積の求め方について解法のポイントを示したり、面や辺、角に着目して説明する活動を多く取り入れたりしながら理解を深めていく。</p>
変化と関係	<p>平均正答率は、市の平均と同等であった。</p> <p>○速さと時間から道のりを求めることができる。</p> <p>●基準量と割合から、比較量を求めることに課題が見られる。</p>	<p>・文章問題において、比較量・基準量の関係について問題の文脈に沿って読み取ったり、説明したりする活動を多く取り入れる。</p>
データの活用	<p>平均正答率は、市の平均を上回った。</p> <p>○ドットプロットから、最頻値を読み取ることができたり、度数分布表を完成させたりすることができる。</p> <p>●平均値付近の記録が一番多いわけではないことを説明することに、やや課題がある。</p>	<p>・データの活用において、平均値や最頻値、中央値などの代表値について復習し、問題場面においてそれらを読み取れているか確認したり説明したりする活動を、授業の中で取り入れる。</p>

宇都宮市立城山東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	67.1	63.8	61.6
	生命・地球	80.4	74.1	73.3
観点別	知識・技能	77.4	73.0	71.3
	思考・判断・表現	69.2	63.8	62.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均と同等であった。</p> <p>○蒸発させたときに何も残らなかった水溶液には、気体が溶けていることを正しく理解している。</p> <p>○ふりこの周期を理解し、実験の結果を推測することができる。</p> <p>●水溶液の性質において、リトマス紙の反応と水溶液の液性についての理解が不十分である。</p>	<p>・実験前に予想したことをもとに結果を比較し、考察する活動を繰り返し行うことで、理解を深めていく。</p> <p>・1人1台端末を用いて、観察・記録の写真を見直したり、動画等で細かな変化を確認したりできるようにすることで、物質の性質について理解を深め、定着を図っていく。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均をやや上回った。</p> <p>○流れる水の働きについて、実験方法を考えたり、結果を推測することができる。</p> <p>○月の見える形が変わる理由について正しく理解している。</p> <p>●動物のからだのつくりとはたらきについて、理解が不十分である。</p>	<p>・理科に関する基本的な用語について繰り返し復習し、理解と定着を図る。</p>

宇都宮市立城山東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
復習により定着を図る学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮っ子学習ステップアップシート(漢字・計算)の実施の継続(年5回) ・朝の学習「国語」での「書く力を身に付けるため」のプリント学習の実施 ・朝の学習での、担任以外の教職員の活用。 ・AIドリルの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業や学習において、主体的に取り組む児童の割合が高い。 ○国語「話すこと・聞くこと」では、正答率が市と同等であった。 ○算数では、全領域において正答率が市と同等または、上回った。 ●国語「書くこと」では、自分の意見とその理由を明確に書くことにおいて、課題が見られる。 ●分数の計算や立式において、課題が見られる。
言語活動の充実による主体的・対話的な指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合い活動での課題設定や発問の工夫。 ・自分の考えを表現するための工夫。(ペア、少人数等の学習形態の工夫、絵や図、1人1台端末の活用。) ・話し方・聞き方の指導や話合いのポイントを示した掲示資料の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数、理科、社会では、全領域において正答率が市と同等または上回った。 ●国語では、「我が国の言語文化に関する事項」において、正答率が市の平均を下回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・今年度、国・県・市の調査ともに、昨年度よりも学力が向上した。
 ・基礎基本の定着において個人差が見られるため、基礎基本の定着を図るために、朝の学習等でドリル学習やAIドリルを活用し、既習内容の復習を繰り返し行うことで定着を図っていく。
 ・全体的に、思考力・表現力を要する発展的な問題に課題が見られる。特に、国語「書くこと」では、自分の意見とその理由を明確に書くことにおいて課題が見られるため、朝の学習の国語で「書く力を身に付けるため」のプリント学習を継続し、語彙力や表現力の向上を図りたい。また、各教科と連携を図り、自分の考えを表現するために、各教科の用語等を用いて文章にまとめる活動を意図的に取り入れ、表現力を高めていきたい。